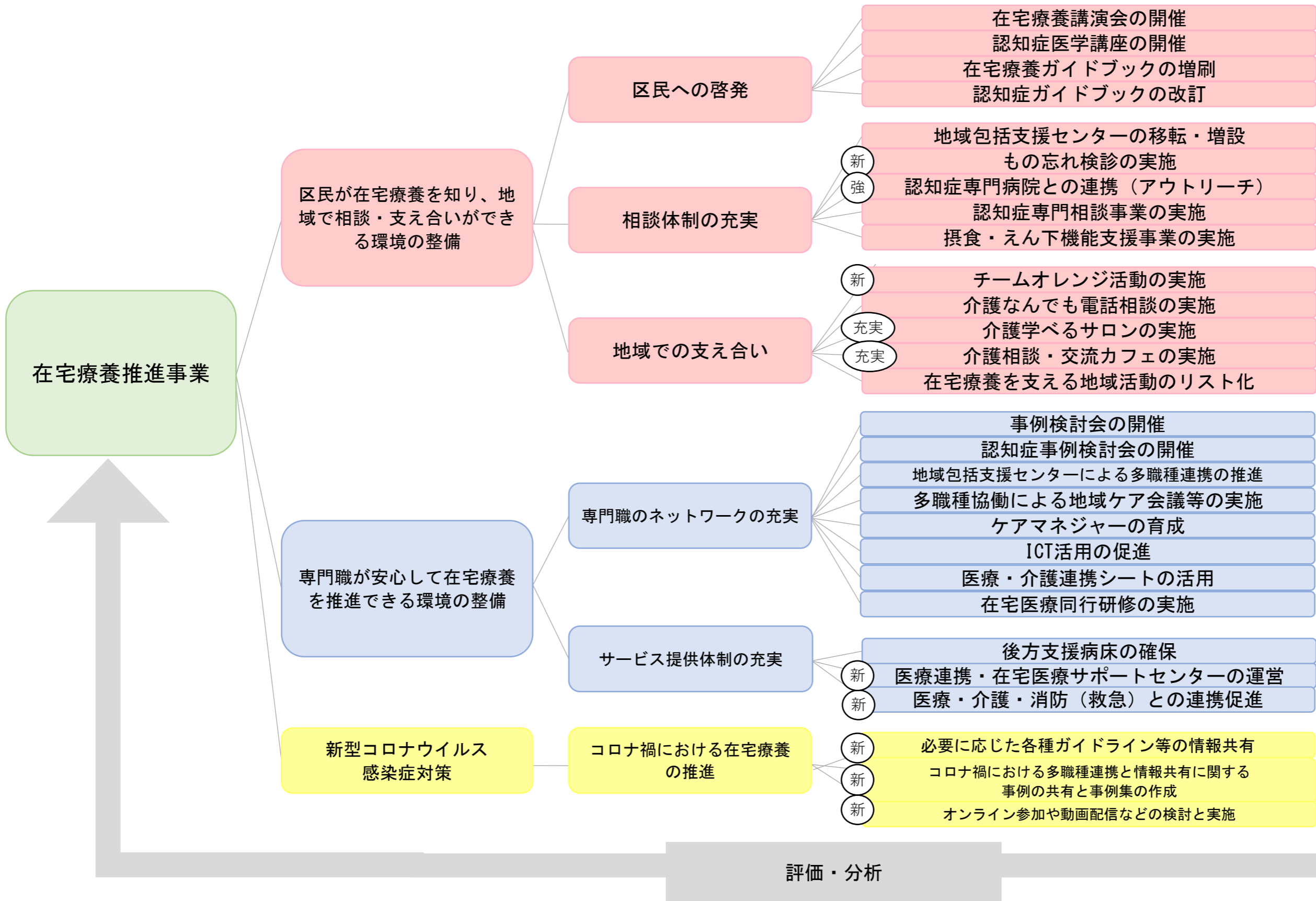


# 練馬区在宅療養推進事業（令和3年度～令和5年度）

目標	高齢者等が在宅で安心して療養できる体制を構築する。
----	---------------------------



【指標】  
 在宅医療資源状況把握  
 医療・介護資源調査  
 死亡小票分析  
 高齢者基礎調査

練馬区在宅療養推進事業（令和3年度～令和5年度）

目標	高齢者等が在宅で安心して療養できる体制を構築する。
----	---------------------------

区民が在宅療養を知り、地域で相談・支え合いができる環境の整備

①区民への啓発

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
多世代が在宅療養や認知症について知っている。 区民が終末期の過ごし方について考え、大切な人と共有している。	区民へのさらなる周知 子世代区民（40代～50代）への周知 終末期の過ごし方について考える機会づくり	在宅療養講演会の開催 3回/年	在宅療養講演会の各回で、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）※の内容を盛り込み、終末期の過ごし方について考える機会とする。また、家族向けのテーマを取り上げ、子世代区民の参加を促す。	講演会参加人数 講演会アンケートの「講演を聞いて、どのような医療や介護を受けたいか、家族や専門職等と話し合いたいと思った」の割合	高齢者基礎調査 在宅療養が難しいと思う理由「在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから」のポイントの減少  高齢者基礎調査 「家族等と最期の医療について話し合ったことがある」	地域医療課
		認知症医学講座の開催 1回/年	認知症専門医療機関との連携により、医師による認知症講演会を実施。	講座参加人数		高齢者支援課
		区民啓発ガイドブックの活用 ・在宅療養ガイドブックの増刷 ・認知症ガイドブックの改訂	病院の医療連携室や診療所、歯科診療所、薬局、地域包括支援センター、区立施設等の多様な場面で区民に配布する。また、講演会や地域ケア個別会議等で利用し、在宅療養および認知症の周知啓発を行う。 在宅療養ガイドブックにACP（アドバンス・ケア・プランニング）に関する項を設け、終末期の過ごし方について考える機会とする。	区民向けガイドブックの発行部数		地域医療課・高齢者支援課

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）…自分の最期の医療や介護について、家族や医師、看護師など周りの支えてくれる人たちとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと

②相談体制の充実

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
身近な地域で専門性の高い相談ができる。	区民等の相談窓口の強化  認知症患者の早期発見、相談窓口の充実	地域包括支援センターの移転・増設	地域包括支援センターを身近で利用しやすい窓口とするため、区立施設等へ移転・増設を実施する。	地域包括支援センターへの相談件数（総件数）	高齢者基礎調査 家族介護者の負担や困りごと「誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない」の回答割合の減少	高齢者支援課
		もの忘れ検診の実施	認知症を早期に発見し支援につなぐため、もの忘れの症状がみられる方に医療機関での検診を実施する。	もの忘れ検診受診件数		高齢者支援課
		認知症専門病院との連携（アウトリーチ）	認知症専門病院との連携により、認知症の疑いのある高齢者への個別支援に取り組む。	地域包括支援センターへ認知症相談件数（延件数） 医師によるアウトリーチ実施回数		高齢者支援課
		認知症専門相談事業の実施	認知症の方の様態に応じて適切な相談支援を実施する。（認知症初期集中支援チームの実施）	初期集中支援チーム対象者数		高齢者支援課・総合福祉事務所
摂食えん下機能の低下の早期発見と支援	摂食・えん下機能支援事業の実施	摂食・えん下機能支援センターでは、摂食・えん下機能の低下を早期に発見するための簡易チェックシートを用いて評価・結果票を作成し、利用者を必要な予防、支援につなげる。	摂食・えん下推進事業の利用者数、支援につながった利用者数	歯科医師会・地域医療課		

③地域での支え合い

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
在宅療養の当事者とその家族を地域で支える。	認知症の方が住みやすい地域づくり	チームオレンジ活動の実施	街かどケアカフェ等を活用し、認知症高齢者本人の声や家族の支援ニーズを聞き取り（本人ミーティング）、生活支援コーディネーターなどと連携しながら認知症サポーター等による支援につなぐ。	本人ミーティングの開催数	在宅介護実態調査 在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護「認知症状への対応」の減少  高齢者基礎調査 家族介護者の負担や困りごと 「誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない」の回答割合の減少	高齢者支援課
	介護家族への支援	介護なんでも電話相談の実施	介護の悩みを気軽に話せるよう、介護経験者による電話相談の利用促進を図る。	相談件数		NPO法人認知症サポートセンター・ねりま・高齢者支援課
		介護学べるサロンの実施	在宅で高齢者を介護する家族等を対象に、健康講話、体操、リフレッシュ活動、サービス紹介等をデイサービス等で実施する。	参加人数		高齢者支援課
		介護相談・交流カフェの実施	介護に悩みを抱える介護者の不安や負担感を軽くするため、介護者同士の支え合いを行うピアサポートサロンを実施する。	参加人数		NPO法人認知症サポートセンター・ねりま・高齢者支援課
	地域活動の見える化	在宅療養を支える地域活動のリスト化	地域活動の見える化を図り、区民が自由にアクセスできるようにする。	リスト掲載数		高齢者支援課・地域医療課・その他関係機関

## 専門職が安心して在宅療養を推進できる環境の整備

### ①専門職のネットワークの充実

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
医療・介護従事者のネットワークを充実し、よりきめ細やかなサービスが提供できる。	多職種の見ええる関係づくりと相互理解の促進	事例検討会の開催 4回/年 認知症事例検討会の開催 4回/年	多職種の顔の見ええる関係づくりと相互理解の促進のため、多職種でグループディスカッションを用いた検討を行う。テーマとしてACP、コロナ禍における在宅療養、ICT活用促進などを取り上げる。認知症支援をテーマとした事例検討会を認知症疾患医療センター（慈雲堂病院）を中心に開催する。	事例検討会アンケートの「他職種のサービス内容に関する理解が深まった」「同グループの方と今後も連絡を取り合える関係性を築けた」の割合 認知症事例検討会アンケートにおける満足度	練馬区医療・介護資源調査 各職種間の望ましい関係と現在の関係の差の減少	地域医療課・高齢者支援課 認知症疾患医療センター
		地域包括支援センターによる多職種連携の推進	・地域包括支援センター主催の多職種が参加する医療・介護連携連絡会を開催する。 ・地域の医療機関や団体主催の多職種連携に資する会議等の開催について、地域包括支援センターが支援を行う。	医療・介護連携連絡会等の実施数		高齢者支援課
		多職種協働による地域ケア会議等の実施	地域包括支援センターごとに、個別ケースの支援内容の検討等を通じ、医療・介護事業者の各専門職、地域の関係者が協働し、地域に共通する課題・不足する社会資源を把握し、地域包括ケアシステムの実現を目指す。	地域ケア会議の開催数		高齢者支援課
		ケアマネジャーの育成	ケアマネジャーの資質を向上するため、主任ケアマネジャーが初任ケアマネジャーの業務に同行する「地域同行型研修」や、在宅療養を支えるチーム員会議の運営方法を実践方式で学ぶ「地域カンファレンス」等を実施する。	研修受講者のアンケートによる満足度		高齢者支援課
	医療・介護の情報共有の促進	ICT活用の推進	事例検討会でICTの活用事例について取り上げ、ICTを活用した多職種連携について理解・促進を図る。	ICTの活用に関する理解度 ICTを活用する医療・介護事業所割合（医療・介護資源調査）		地域医療課
		医療・介護連携シートの活用	主に高齢者に関わる関係機関の連携を円滑にするため、担当者を記載するシートを地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、薬局にて配付する。	発行数 練馬区医療・介護資源調査で医療・介護連携シートの認識の「知らない」の割合の減少		高齢者支援課
	病院と在宅サービスの連携の強化	在宅医療同行研修の実施	病院スタッフが在宅医療スタッフの現場に同行し在宅医療業務を体験する研修を実施する。実施後には、参加者が研修で体験した内容や気づいたことについて病院スタッフと在宅医療スタッフとの意見交換等を行う振り返り研修を実施する。看護師のみならず、リハビリテーション職種や薬剤師等の対象者を拡大する。	在宅医療同行研修受講後アンケート 【新規】在宅医療業務に対する理解度		地域医療課

### ②サービス提供体制の充実

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
24時間365日切れ目のない在宅医療を提供できる。	緊急時等に入院できる環境の整備	後方支援病床の確保	練馬区医師会員の事業として実施。訪問診療を実施している主治医が、一時的な入院治療が必要と判断した在宅療養者や退院後の在宅医療受入調整期間中の患者を協力医療機関が、短期間受入れる。（練馬区補助金事業）	後方支援病床の利用件数	練馬区医療・介護資源調査 後方支援病床を「知らない」と回答した診療所の割合の減少	医師会・地域医療課
	かかりつけ医（在宅医）の負担軽減 新規参入かかりつけ医への支援	医療連携・在宅医療サポートセンターの運営	練馬区医師会員の事業として実施。在宅医療の担い手となる医師や病院・診療所連携の支援を行う。（練馬区補助金事業）	訪問診療を行う医療機関数	訪問診療を行う医療機関数の増加	医師会・地域医療課
	緊急時にも在宅療養患者（利用者）の意思を尊重した対応ができる医療・介護・消防（救急）との連携の促進	現状把握と取り組むべき課題の整理、課題解決のための取組みについての検討	【検討】 専門部会等で消防（救急）との意見交換会を開催し、ACPを踏まえた救急対応の現状と課題、および取組みについて検討する。			地域医療課

新型コロナウイルス感染症対策

①コロナ禍における在宅療養の推進

目指すべき状態	目的	取組	概要	成果指標	目指すべき状態に対する指標	担当・所管
コロナ禍においても、区民が安心して在宅療養が出来る体制を構築する。	感染予防策、感染拡大防止策を講じた在宅療養サービスの提供	必要に応じた各種ガイドライン等の情報共有	コロナ禍における医療・介護のサービス提供については、国や都、各団体よりガイドライン等が示されており、専門職は各ガイドラインに沿ってサービスを提供している。新たな情報等については、必要に応じ、関係機関と共有する。	情報共有の回数		地域医療課 高齢者支援課
	感染症の蔓延時の在宅療養における多職種連携・情報共有方法の蓄積	コロナ禍における多職種連携と情報共有に関する事例の共有と事例集の作成	新型コロナウイルス感染症への感染を予防しながら、どのように多職種連携を行い、情報共有を行ったのかを、事例検討会等で取り上げ共有する。また、それらをまとめた事例集を作成し、専門職に情報提供する。	事例集の作成		地域医療課 高齢者支援課
	感染拡大を予防した事業の実施	オンライン参加や動画配信などの検討と実施	コロナ禍においても自宅等で在宅療養に関する知識を得られるように在宅療養講演会を動画で配信できるよう検討する。専門職向けの研修や会議体等において、状況に応じてオンラインで実施する。	動画配信回数 オンライン開催数		地域医療課

【指標】

目指すべき状態	取組	概要	担当・所管
在宅療養を取り巻く現状と経年的な変化を把握し、区民、事業者のそれぞれの状況と合わせ立体的に分析し、在宅療養推進事業の今後の方向性を検討する。	在宅医療資源状況把握 (4回/年)	在宅療養支援診療所数(在宅医数)、訪問看護ステーション数、各種介護保険サービス事業者数(24時間対応、医療対応型)、その他資源数等の量的な医療介護資源の現状を把握し、他の調査と合わせ、在宅療養推進事業の今後の方向性を検討する。	地域医療課
	医療・介護資源調査 (1回/3年)	医療・介護事業者へのアンケートで質的な医療介護資源の現状を調査し、練馬区における在宅療養の環境整備状況および在宅療養推進事業の現状と課題を把握する。	地域医療課
	死亡小票分析 (1回/年)	死亡場所別死亡者数(医療機関死亡者数、自宅死亡者数、施設死亡者数)、死因別死亡者数、医療機関別自宅看取り数等を把握し、今後の在宅療養の需要を予測する。	地域医療課
	高齢者基礎調査 (1回/3年)	区内の高齢者等を対象に、生活実態等を把握し、在宅療養推進事業の今後の方向性および練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を検討する。	高齢社会対策課

No	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
1	練馬区医師会	主治医、訪問看護ステーション職員、その他関係者（病院医療連携室等担当者、行政等）	専門職のネットワークの充実	専門職のネットワーク連携強化	主治医と練馬区訪問看護ステーション連絡会との研修懇親会	平成14年度～	年1回程度	主催	訪問看護ステーションに訪問看護指示書を出す主治医と、現場で実際に患者と接する訪問看護スタッフとの情報交換、連携、交流を図り、資質向上のための研修懇親会。
2		練馬区医師会会員、会員施設従事者、その他、連携する多職種	専門職のネットワークの充実	在宅医療に必要な知識や技術の習得	在宅医療研修会	平成29年度～	年2～3回	主催	在宅医療に必要な知識や技術の習得等を目的とした研修会を開催する。平成31年度は専門医師による講演、薬剤師、地域包括支援センターからの講演を実施。
3		練馬区医師会会員、会員施設従事者、その他、連携する多職種	サービス提供体制の充実	病院から在宅療養生活への円滑な移行	東京都在宅療養研修事業にかかる病院内での理解促進研修	平成30年度～	年2回	主催	病院内で病院スタッフ等へ地域在宅医、多職種等を講師とした研修。
4		練馬区医師会会員、会員施設従事者、その他、連携する多職種	専門職のネットワーク	在宅医療現場の実際の把握	東京都在宅療養研修事業にかかる相互研修	平成30年度～	適宜	主催	病院スタッフが在宅療養の現場を理解する為、患家宅へ同行訪問および老健施設への見学により地域資源の把握をする。
5		練馬区医師会会員	専門職のネットワーク	在宅医療の課題の抽出	在宅医療部会/在宅医療推進協議会	平成28年度～	月1回	主催	在宅医療を提供している会員医療機関の集まりで、在宅医療を行う上での問題点を協議している。また、訪問看護ステーションとも連携している。現在、病院から在宅に移る際の在宅医調整依頼票を作り、依頼法を検討している。また、ITCの活用について検討中。
6		練馬区医師会会員	専門職のネットワーク	会員への周知啓発	学術部整形外科医会による講演会	平成29年～	年8回	主催	在宅医療患者も含めたロコモティブシンドロームの予防はフレイルやサルコペニアの予防上重要と考えられるため、健康寿命延伸のために年8回の講演会を通じて会員の啓発に努めている。
7		練馬区医師会会員、連携する多職種	専門職のネットワーク	多職種への周知啓発	学術部骨粗鬆症・骨折予防ネットワーク研究会による講演会	平成31年度～	年3回	主催	整形外科、内科、産婦人科、眼科、歯科、在宅医、薬剤師が役員として構成されている。骨粗鬆症による骨脆弱性骨折による医療費・介護費は練馬区で年間13億円程度となると試算した。年3回の講演会を通じて、医師だけでなく、薬剤師、ケアマネ、介護職員に対して骨粗鬆症予防は骨折予防だけでなく健康寿命を延ばすことになり重要であることを啓蒙している。
8	練馬区医師会訪問看護ステーション	区内訪問看護ステーション所長	専門職のネットワーク	区民への質の高い訪問看護の提供	練馬区訪問看護ステーション連絡会事務局	平成10年度～	月1回	協力	練馬区医師会訪問看護ステーションが事務局となり、区内約50ヶ所のステーションと連携を図る。
9	練馬区歯科医師会	区民	区民への啓発	介護家族、本人の口腔ケアの理解と促進（やり方等） 摂食・えん下機能支援事業の普及促進	練馬区歯科医師会の他団体への派遣・交流	平成28年度～	随時	協力	練馬区歯科医師会から講師を派遣し、口腔ケアの基礎と課題の解決方法の学習、意見交換、交流を行う。 平成28年度 認知症の介護家族の会「木瓜の花」例会 平成29年度 認知症カフェ
10		専門職（医師、歯科医師、薬剤師等）	練馬区歯科医師会における摂食・えん下障害への取り組み	摂食・えん下障害に関する理解	練馬区歯科医師会からの講師派遣	平成29年度～	随時	協力	歯科医師会から講師を派遣し、練馬つつじ歯科診療所で扱った摂食・えん下障害患者の症例、摂食・えん下機能支援センター事業、摂食・えん下療法等について専門職向けに講演する。 練馬区薬剤師会（地区薬剤師研修会）、練馬総合病院（練馬在宅症例研究会）、練馬区医師会（摂食・えん下研究会）、介護サービス事業者連絡協議会（研究会）、練馬光が丘病院（看護等スタッフ向け研修）
11	練馬区薬剤師会	区民	区民への啓発	健康サポート、在宅療養時の服薬支援提案	知って納得！薬剤師・薬局活用法	平成25年度～	随時	主催	街かどケアカフェや敬老館、地域の敬老会、デイサービス施設等で実施。保険薬局や薬剤師の活用法、健康相談や在宅療養になった際に受けられるサービス等について紹介する。
12		区民	区民への啓発	お薬・介護相談会	そうだ！薬剤師に聞いてみよう	平成16年～	年5回程度	主催	医薬品の適正使用、健康、セルフメディケーション、治療、介護に関する相談対応および必要に応じ受診勧奨をする。
13		区民・専門職	サービス提供体制の充実	在宅業務実施薬局の周知	在宅業務実施薬局リスト	平成25年度～	随時	主催	会員薬局で在宅業務を実施、受け入れ準備のある薬局をリスト化、HPで公開し、区民や多職種が薬局を選ぶ際に活用できるようにする。
14		専門職	服薬支援における、訪問介護等との連携	多職種への薬剤師職能の理解と活用の促進	意外と知られていない！在宅で薬剤師ができること	平成29年度～	随時	主催	多職種に薬剤師の職能を正しく理解していただき、地域や在宅療養で活用してもらうため、地域包括支援センターや関連団体の要請により講演を実施する。

No	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
15	練馬区薬剤師会	専門職	サービス提供体制の充実	在宅業務受け入れ先のマッチング	エリアコーディネート制度	平成25年度～	随時	主催	在宅業務受け入れ薬局が見つからない、高カロリー輸液や麻薬等、医療依存度の高い事例に対する受け入れ可能な薬局とのマッチング支援を行う。
16		病院勤務薬剤師・薬局薬剤師	専門職のネットワークの充実	入退院時の連携促進	在宅業務はじめのいっぽ～みんなで考えるポリファーマシー～	平成31年度～	年1回	主催	入院中に実施されることが多い、多剤服用の解消の取組みに対して、院内外の薬剤師の共通理解を深めるための研修会を開催
17		薬局勤務薬剤師	無菌製剤処方箋応需	無菌製剤調製技能習得	無菌調製技能習得研修会	平成27年度～	年1回	主催	在宅医療における、高カロリー輸液の無菌調製の技能を習得し、処方箋応需時に対応できるようにする。
18		病院勤務薬剤師・薬局薬剤師	専門職のネットワークの充実	入退院時の情報連携促進	薬薬連携研修会	令和元年度～	年2回	主催	区内の基幹病院における入院時の服薬情報収集、退院カンファレンスの現状を知り、連携に活かす研修会を開催。今後は、情報共有ツールなどの開発や共有手段などについて検討していく。
19		地域包括支援センター職員とその担当区域の薬局薬剤師	地域連携の強化	地域連携の重要性の再考	エリア会	令和2年度～	年2回	主催	地域包括支援センターとその担当地域の薬局薬剤師とで、地域の課題を検討し、合同の研修会などを企画する。地域のニーズにあった支援、連携の構築を目的とする。
20	練馬総合病院	専門職	専門職のネットワークの充実	多職種相互理解の促進	練馬在宅症例検討会	平成25年度～	年1回	主催	院内外の専門職を対象に、在宅療養に関わる様々な職種に講師を依頼し、多職種の理解につながる研修を開催する。
21	順天堂大学医学部附属練馬病院	区・市民	区民への啓発	地域医療機関との連携強化 地域社会への貢献 区民への健康に関する啓蒙	区民健康医学講座	平成17年～	年6回程度	主催	いろいろな病気を当院の専門医師がわかりやすい内容で説明し、区民の理解を深めてもらうための講演会を開催する。
22	順天堂大学医学部附属練馬病院	専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、訪問看護師、ケアマネ）	地域での支え合い	より良い治療やエンドオブライフケア、アドバンスケアプランを実践する医療・介護者のネットワーク強化	ねりまケアネットワーク	平成27年～	年5回	主催	症例検討を行い、医療・介護の多職種が意見交換、信頼関係構築につなげていく研修会を開催する。
23		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、訪問看護師、ケアマネ）	専門職のネットワークの充実	多職種相互理解の促進	在宅連携の会	平成24年～	年1回	主催	講演形式で、それぞれの職種の業務を互いに理解を深め、スムーズな連携を進めるための講演会を開催する。
24		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師、訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	地域医療機関との連携強化の一環と地域社会への貢献	医療連携フォーラム	平成17年～	年6回程度	主催	当院が実施している医療（治療）の説明や、地域と更なる連携を図れるよう、専門的に各科の責任者が講演する勉強会を開催する。
25		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師、訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	顔の見える地域医療機関との連携推進	医療連携の会	平成29年～	年1回	主催	地域と更なる連携強化を目指し、医師、看護師からの講演、他施設との情報・意見交換、各診療科の紹介等、着席形式で行う。
26		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師、訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	基本的緩和ケアの教育	緩和ケア研修会	平成22年～	年1回	主催	がん診療連携拠点病院で行う研修。教育資格を持つ医療者で講義、ワークのファシリテートを行う。e-learningによる事前学習、事例検討、ロールプレイ学習を行う。
27	順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科	専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師）	専門職のネットワークの充実	顔の見える地域医療機関との連携推進	練馬循環器セミナー	平成26年～	年10回	主催	地域と更なる連携強化を目指し、医師、薬剤師を中心に意見交換等を行う。当院から医師が講演を行う。
28	順天堂大学医学部附属練馬病院がん治療センター	区民（がん患者、家族）	地域での支え合い	がん患者の交流会、ピアサポート がん治療、緩和ケアの啓発	緩和ケア交流会（患者家族ミニレクチャー&交流会）	平成26年～	年10回程度	主催	医療者からのミニレクチャーやピアサポート、こころのケアを目的とした交流会や写真展、アロマボランティア協力によるハンドマッサージ等を行う。
29		専門職（院内・院外医師、院内・院外看護師、薬剤師、理学療法士、訪問看護師、ケアマネ）	専門職のネットワークの充実	緩和ケアの質向上と顔の見える地域医療機関との連携促進	緩和ケア学習会	平成19年～	年2回程度	主催	緩和医療に伴う知識や連携に関する取り組み、事例検討等を講義形式で行い、意見交換を行う。



No	団体名	対象	課題	目的	取組（事業名）	期間	頻度	関与	概要
30	認知症疾患医療センター (慈雲堂病院)	区民	地域での支え合い	認知症の方やその家族を支援する	オレンジカフェえんがわ	平成29年度～	年12回 (月1回)	主催	院内でオレンジカフェを開催し、認知症の方やその家族を支援している。
31		専門職（ケアマネジャー、訪問介護員、訪問看護師、理学療法士）	BPSDへの対応	認知症の行動心理症状への対応を学ぶ	専門的知識獲得のための関係者向け研修	平成29年度～	年1回	主催	専門職向けに日常業務の中で対応に困るようなBPSDについて紹介し、対応の仕方について研修を行う。
32		医師会医療連携センター、医療機関（慈雲堂病院・陽和病院）、行政	専門職のネットワーク	情報共有	練馬区認知症疾患医療センター実務者連携協議会	平成28年度～	年4回	主催	認知症に係る関係機関が集まり、在宅療養を続けている認知症の方の支援について情報交換を行い、ネットワークを強固にする。
33		地域包括支援センター職員	専門職のネットワーク	初期集中支援チーム等での認知症の実態把握ツールを学ぶ	DASC-21の使い方を学ぶ	平成30年度	年1回	主催	講演会形式で、DASC-21について学び、認知症の方の実態把握を速やかに行う一助としてもらう。
34	練馬区訪問看護ステーション連絡会	区民	区民への啓発	区民への訪問看護の周知	看護の日のイベント	平成20年度～	年1回	主催	5月の看護の日の週末に、健康測定や介護相談、訪問看護の紹介等を行い訪問看護の周知を図ることを目的としたイベントを開催する。
35		区民	区民への啓発	区民への訪問看護の周知 潜在看護師の発掘	介護週間	—	年1回	協力	練馬区事業者連絡協議会が開催するイベントで、訪問看護を紹介する展示を行うほか、相談・測定等他部会のブースへの協力を行う。 主催：練馬区事業者連絡協議会
36		区民	区民への啓発	在宅療養者の自助力の強化	災害時のリーフレットの作成 災害時個別支援計画の作成	平成26年度～	—	主催	医療処置が必要な訪問看護利用者の発災時の自助力を高めるため、連絡会で災害時対応リーフレットを作成し、平時から発災時に備える指導を行う。また、保健所からの委託を受け「人工呼吸器利用者の災害時個別支援計画」（東京都事業）の作成を行う。
37		専門職（医師、医療連携室スタッフ、訪問看護師）	専門職のネットワークの充実	病院と訪問看護の連携	主治医と練馬区訪問看護ステーション連絡会との研修懇親会	—	年1回	共催	訪問看護指示書を出す主治医と、現場で実際に患者と接する訪問看護スタッフとの情報交換、連携、交流を図り、資質向上のための研修・懇親会を開催する。 共催：練馬区医師会
38	練馬区介護サービス事業者連絡協議会 居宅介護支援部会	区民	区民への啓発	区民の介護保険に関する知識の向上	介護週間 介護なんでも相談会～介護保険の「？」を聞いてみよう～	—	年1回	協力	介護週間の期間中、練馬区役所アトリウム、光が丘区民センター、関町区民センターに相談コーナーを設置し、ケアマネジャー2名を配置。区民の皆様からの介護に関する相談や質問に対応する。 主催：練馬区事業者連絡協議会
39		区内ケアマネジャー	医療連携	区民の入退院時の連携	入院時連携シート 作成・普及	平成28年度～	年1回	主催	区内及び近隣病院の医療相談員等と定期的に合同研修会を開催 お互い知りたい情報伝えたい情報の共有を図り、区内統一した書式の作成。練馬区地域医療課と共催にて研修会を開き周知
40		専門職	専門職のネットワークの充実	専門領域による理解	事連協別部会と共同で研修会	—	年1回	主催	訪問介護部会・リハビリ従事者連絡会・福祉用具部会・地域密着サービス等毎年他部会と順にコラボ研修を行いお互いの利点を分かり合う。
41	練馬区主任介護支援専門員協議会 (CMAN)	主任介護支援専門員	介護支援専門員の質の向上	スーパービジョンによる介護支援専門員の人材育成	スーパービジョン研修・地域同行型研修	—	年1回	協力	高齢者支援課の介護支援専門員の研修に協力 医療的に問題を抱える利用者のスーパービジョンなど
42		主任介護支援専門員	介護支援専門員の質の向上	スーパービジョンによる介護支援専門員の人材育成	質の向上ガイドライン研修	—	年1回	協力	介護保険課 ケアプラン点検のサポート養成 医療的に問題を抱える利用者のリアセスメントシートを用い振り返りケアプランを改め直す
43		主任介護支援専門員	介護支援専門員の質の向上	スーパービジョンによる介護支援専門員の人材育成	地域カンファレンス	—	年1回	協力	地域で困っている又、医療連携している事例を包括支援センターと協力し事例を提出し、専門職よりアドバイスを受ける
44		区内ケアマネジャー・利用者	区民への啓発 専門職の人材育成システム	区民へケアマネジャーの仕事の内容周知	リーフレット作成	—	3年に1回改訂	主催	①事業者連絡会居宅部会・練馬ケアマネジャー連絡会・練馬区研修センターと協力を得ながら、ケアマネジャーの学ぶビジョンを表す。②区民向けにケアマネジャーの成長についての表す。 ①②とも医療との連携が欠かせない内容が表記されている。
45	練馬区摂食嚥下研究会	医師・歯科医師・看護師・PT・OT・ST・ケアマネジャー	区内の摂食嚥下支援体制やクリニカルパスをはじめとするチーム医療促進	摂食嚥下に対する高い質を目指すための情報交換と討論の場と提供を目的とする	研究会	平成30年度～	年2回	主催	3～5回/年研修会を開催 令和3年度はコロナのこともあり休止
46	おたがいさまの会	区民や専門職	区民への啓発、専門職の顔の見える関係づくりなど	認知症とともに歩む社会づくりに向けて、情報発信や学習会、講演会などを行う。	認知症地域資源マップ「おたがいさまマップ」 認知症当事者講演会 RUN伴ねりま 練馬つながるフェスタ もしバナカフェ	—	定例会は二ヶ月に一回 他は適宜	主催 共催 協力	「おたがいさまマップ」を作成し、地区祭などで配布 若年性認知症当事者の方を招き講演 RUN伴ねりまを結成しRUN伴に参加 練馬つながるフェスタにおいてブース出展し認知症や介護の情報発信  YouTubeチャンネルのおたがいさまチャンネルを製作し情報発信など <a href="https://youtube.com/channel/UC06VAG0YPzSkwhG8Ruh1rww">https://youtube.com/channel/UC06VAG0YPzSkwhG8Ruh1rww</a>